

高等学校 2年生 保健体育科学習指導案

1 単元名 「生涯を通じる健康」 (労働災害と健康)

2 単元について

生涯の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康の関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする必要がある。

このため、本内容は、思春期、結婚生活、加齢の各段階において、健康、行動、生活などに課題や特徴があること、また労働の形態や環境の変化に伴った健康及び安全の課題があること、それらを踏まえ、自他の健康管理、安全管理及び環境づくりを行う必要があること、労働に関わる社会資源などを適切に活用することなどを中心に構成している。

3 単元の目標

知識・技能	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題解決に役立つ自らの適切な対応及び社会環境づくりが重要であることの基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解することができるようにする。
思考力・判断力・表現力等	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表現できるようにする。
学びに向かう力・人間性	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題解決に役立つ自らの適切な対応及び社会環境づくりが重要であることについて関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。

4 生徒の実態と指導観

運動部活動所属している生徒が 24 人。その中で、事前アンケートから部活中に怪我をしたことのあるのは 19 人であり、ほとんどの生徒が部活中のけがを経験しているため、それを関連付けて労働災害について学ばせる。不慮の事故の起こる要因や、防ぎ方を学び、注意力を高めさせる。

5 単元及び学習活動に即した評価規準

健康安全への知識・技能	健康安全についての思考力・判断力・表現力等	健康・安全について、主体的に学習する態度
-------------	-----------------------	----------------------

<p>① 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。</p> <p>② 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。</p>	<p>① 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>① 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
--	---	--

6 指導と評価の計画

時間	主な学習内容	知識	思・判・表	学び
1	ライフステージと健康			
2	思春期と健康			
3	性意識と性行動の選択			
4	妊娠・出産と健康			
5	避妊法と人工妊娠中絶			
6	結婚生活と健康			
7	中高年期と健康			
8	働くことと健康			
9	労働災害と健康 1－1．労働中の事故 2．職業病 2－1．安全管理 2．健康管理		○	
10	健康的な職業選択			

7 本時の展開

① 本時の目標

- ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。
- ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。

②展開

段階	学習活動【 学習内容 】	指導上の留意点 ◇評価
導入 5分	<p>【事例から労働災害を連想する】</p> <p>○建物の窓を清掃中に転落して死亡した事例から、どうしてそのような事故が起きたのか考える。</p> <p>○考えたことをワークシートに記入する。説明を聞いてメモや、実際の原因を赤ペンで書くなどする。</p>	<p>○ワークシートを配布する。</p> <p>○トラウマなどのある生徒がいるかもしれないので配慮する。</p> <p>○この学校でもたまに見られる窓(外側)の清掃の仕事での労働災害の事例を挙げ、働くことの意義や、それによって起こる労働災害について考えさせる。</p> <p>○黒板にイラストを貼り仕事をしている様子を見せて、どのような場所でどんなことをする仕事なのかを伝える。この仕事の危険性を知ったうえで、このような危険な労働は給料が高いので、その働く意義はお金のためであることが多いことを理解させる。この事例では、何が原因で起こった労働災害なのか説明し、事故が起きないようにするための対策法を伝える。</p>
展開 35分	<p>【労働災害の種類や要因を知る。】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問1：このイラストの中に労働災害が起きそうな場面はいくつありますか？</p> </div> <p>・隣同士で考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される生徒の反応：</p> <p>・過労死 ・転落 ・交通事故</p> <p>・骨折 ・うつ病 など</p> </div> <p>・身近にいろんな危険が隠れていることを知る。</p> <p>○労働災害についての説明を聞く。</p>	<p>○隣同士、いない人は前後の人とで考えさせる。</p> <p>○考える時間は3分程度。</p> <p>○クラス全体に問いかけ発表させる。</p> <p>○出た意見は黒板に書いて残す。</p> <p>○否定せずすべての考えを肯定する。</p> <p>○身体的なものだけでなく、精神的なものも労働災害に含まれることを知らせる。</p> <p>○労働災害について説明し、その種類や原因となることを説明する。4つの要因(4M)を用いて、それぞれ詳しく説明し、理解させる。簡単にまとめた内容を黒板に書く。</p>

<p>【4 M を理解し種類分けできるようになる】</p>	<p>○4 Mは黒板に書く。板書が終わってから説明に入る。</p>
<p>発問2：労働災害の事例を4つの要因に分類し、理由も含めて考えよう。</p>	
<p>・グループで考える(3～4人) ・考えた内容はワークシートに記入する。 ・グループの代表者が発表する。</p> <div data-bbox="279 667 751 1218"> <p>予想される生徒の反応： Man(人的要因) 飲酒運転による交通事故 上司のパワハラによる鬱 Machine(機械要因) 点検不足による飛行機墜落 Medea(環境要因) 強風の吹くなか高所での作業による転落 Management(管理要因) 健康管理が行き届かず持病発生</p> </div> <p>○ICTを活用する。 【ヒヤリハットを知る】</p>	<p>○ICTを活用して事例を挙げさせるが、積極的な話し合いが行えるよう、スマートフォン等ばかり見ている生徒には話し合いをするよう声掛けする。 ○考える時間を8分間とり、状況を見て切り上げる。 ○代表者に発表してもらった内容を黒板に書いてまとめ、全体で正しいかどうか答え合わせをする。 ○実際に合った労働災害を自分たちで調べさせることで、興味を持って授業に取り組んでもらい理解を深めさせる。</p>
<p>発問3：ハインリッヒの法則に1：29：300で表されるものがあります。この割合はなにを表したものだと思いますか？</p>	
<p>個人で考える</p> <div data-bbox="258 1518 754 1668"> <p>予想される生徒の反応： 本社・子会社・営業所 等</p> </div> <p>○ハインリッヒの法則がどんなものか知る。 ○ヒヤリハットとは何かを知る。</p>	<p>○1件の重大事故の裏には29件の軽傷事故と300件の無傷事故があるといわれているということを表したものであると教え、この300件の無傷事故はヒヤリハットといわれることを伝える。 ○ヒヤリハットが起きる原因の説明をし、大事なところはプリントを穴埋め状態にして自分で書かせるようにする。 ○ヒヤリハットの事例を一つ挙げ、それはどの要因に当てはまるか考えさせる。</p>

		<p>○ヒヤリハットが起きた際には、報告書の作成や事案・原因の検討、事故防止策・対策方法の策定などにより、重大事故が起きないための対策が取られることを教える。</p> <div> <p>◇ 思考力・判断力・表現力</p> <p>生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>〈A 評価とするポイント〉</p> <p>本時で学んだ労働災害の分類やそれが起きる要因を説明することができ、対策を考え、伝えることができる。</p> <p>〈C 評価とするポイント〉</p> <p>本時で学んだ労働災害について一部理解している。危ない仕事は無くす、やらないようにするなどの極端な考えをしている。</p> <p>〈C 評価の生徒への手立て〉</p> <p>その仕事が行われている意義を理解させ、安全な行い方を考えさせる。</p> <p>身体的なもの以外にも精神的なものも労働災害に含まれることを理解させる。</p> </div>
--	--	---

ま と め 10 分	【どのような職業にも起こりうると危機感を持つ】	
	<div>発問４：将来就きたい職業で考えられる労働災害と、その対策法を考えよう。将来就きたい職業がない人は教師で考えよう。</div> <div>○ワークシートに記入する。</div> <div> <div> 予想される生徒の反応： 教師→睡眠不足 人を頼る。 事務→眼精疲労・ドライアイ 適度な休憩、メガネ等の使用 </div> <div> ○ワークシートの振り返りを行う。 ○班ごとにプリントをまとめる。 </div> </div>	<div>○机間指導を行う。</div> <div>○二人指名して発表してもらう。</div> <div>○ワークシートの振り返りを記入させる。 ○ワークシートを回収し、授業を終了する。</div>

8 板書計画

<div>本時の目標</div>	<div>労働災害についての板書</div>
<div>資料① 導入</div>	
<div>資料② 発問 1</div>	
<div>発問 1 の生徒から出た意見</div>	

発問2の生徒から出た意見		資料③ 発問3
Man	Machine	ヒヤリハットについての板書
Medea	Management	

9 資料

資料①

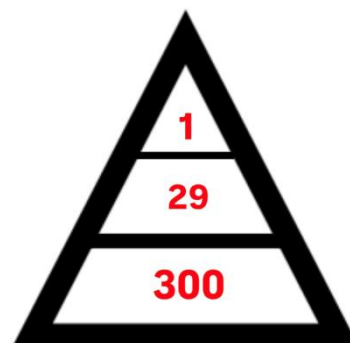
【死亡事故】建物の窓（外側）を清掃中に転落

被災者は4階建ての窓（外側）を清掃している最中、窓の外側にある張り出し幅1.1mの庇（ひさし）から転落し、11.6m下の地上に転落して死亡しました。窓清掃では庇の上に脚立を立て、その上に乗って作業をしていましたが、庇は0.33mの立ち上がりしかなく、安全帯も使われていませんでした。

資料②



資料③



ワークシート 労働災害と健康 P 9 4 ~ 9 5

年 組 氏名

1. 窓ふきの清掃中に起きた死亡事故では、何が原因だったと考えられますか？

2.



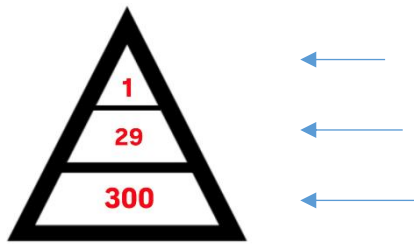
3. 労働災害の 4 M

	① 心理的要因：忘却(ど忘れ)、考え事、無意識行動 など ② 生理的要因：疲労、睡眠不足、アルコール、加齢 など ③ 職場的要因：人間関係、コミュニケーション など
	機械設備の設計上の欠陥、危機防衛不良、点検整備不良 など
	作業情報が不適切、作業動作の欠陥、作業方法が不適切 など
	管理組織の欠陥、規定・マニュアル不備、教育管理不足、健康管理不足 など

4.

Man	Machine
Medea	Management

5.



_____ : 表向きは事故や災害にいたらなかった事象(ヒヤリとしたり、ハッとしたりする)

→() () () ・ ()
の策定などにより、重大事故が起きないための対策が取られる。

6. 将来就きたい職業で考えられる労働災害と、その対策法を考えましょう。

職業[]

--

7. 今日の授業の感想

--